

第2章 保健活動の実施企画

・保健活動企画総論

Our Mission センターの保健部門の役割とは…、

あいちの子どもたちの健全な成長・発育、こころと体のヘルスプロモーションを目指し、センター周囲の豊かな自然と療養環境の下、ボランティア活動を中心とした地域との共生から国際交流まで、幅広い視野で小児保健サービスに貢献します。

「情報サービス」、「調査・研究」、「保健医療相談」、「教育・研修」の4つの主要機能を縦横に駆使し、センターの医療部門や他の専門機関とも密に連携して、小児保健の中核的支援拠点として以下のサービスを提供します。また、マスメディア等も利用してあまねく事業を紹介し、数値目標などを用いた機能評価のもと、公共性と経済性に調和のとれた運営を行います。

Strategy 保健部門事業の展開方法とは…、

愛知県やわが国の保健医療の現状に対して、私たちが取り組むべき主要課題を次のように設定し、その課題解決に向けて、個々の活動を展開します。

- 1) 子どもの虐待
- 2) 子どもの事故
- 3) 子どもと家族のヘルスプロモーション
- 4) 子どもと家族へのボランティア活動
- 5) 在宅療養支援・地域との連携
- 6) 国際母子保健医療
- 7) 時間外電話相談
- 8) 愛知県予防接種センター
- 9) 愛知県遺伝相談センター
- 10) 学校保健関連活動
- 11) 小児保健情報センター

・本年度の目標設定と活動企画

事業を活動に展開するにあたって、3つの重点目標を設定した。すなわち、1.妊娠・出産からの子育て支援、2.医療と地域の連携、3.地域保健活動支援である。

その目標にむけ課題を解決するため中期的な（数年程度）活動目標を設定し、実施した。

- ・活動目標：個々の活動が目指すべき目標。
- ・平成19年度目標：活動実施にあたっての本年度の具体的な目標。

重点目標1． 妊娠・出産からの子育て支援	
活動名	1 - 1．子ども虐待予防活動
活動目標	平成19年度目標
<ul style="list-style-type: none"> ・ センター全体の虐待への専門性を高め、早期発見から支援、再発予防までの虐待対応を充実を図る ・ 周産期からの虐待予防に関するシステムを構築する 	<ul style="list-style-type: none"> ・ センター内での虐待対応の充実 ・ 地域医療機関と保健機関の連携による、周産期からの虐待予防の研究の充実
活動名	1 - 2．時間外電話相談活動
活動目標	平成19年度目標
<ul style="list-style-type: none"> ・ 効果的な相談対応の標準化。 ・ 相談内容・助言内容を分析し専門家へ還元することで、情報の共有化を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 平日3人、土曜2人の相談体制の確保と相談員へのコンサルテーションの充実。 ・ 相談情報の分析による母子保健ニーズの抽出
活動名	1 - 3．母子保健スキルアップ研修
活動目標	平成19年度目標
<ul style="list-style-type: none"> ・ 乳幼児健診において、保育家庭環境問題をはじめとする要支援ケースの発見などの視点を高め、適切な個別ケースへの支援ができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ ケース支援マニュアルによる院内連携を密にする。 ・ サポート連絡表を活用をしていく中で、子育てに関する課題が医療と保健で共有することができ、早期支援につなげることができる。

重点目標2． 医療と地域の連携	
活動名	2 - 1．ケースを通しての連携
活動目標	平成19年度目標
<ul style="list-style-type: none"> ・ 母子保健事業連絡会や研修を通して、保健所、市町村、訪問看護ステーションとの連携を強化し、在宅医療や在宅療養が円滑に推進できるように連携を強化する。 ・ 院内からの依頼や退院後の情報の還元をとおして、地域、院内の連携を強化する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ ケース支援マニュアルによる院内連携を密にする。 ・ サポート連絡表を活用をしていく中で、子育てに関する課題が医療と保健で共有することができ、早期支援につなげることができる。
活動名	2 - 2．アチャメック子育てスクール
活動目標	平成19年度目標
<ul style="list-style-type: none"> ・ 乳児期の子どもを育てることに困難がある家族が、不適切な養育に陥らないよう未然にその持てる力をエンパワーする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 子育て支援入院プログラムの院内システムを確立、プログラムを実践する。 ・ 医療部門と保健部門との地域との連携。

活動名	2 - 3 . 訪問看護ステーション研修	
	活動目標	平成 19 年度目標
	<ul style="list-style-type: none"> 訪問看護ステーションの看護職対象に小児看護のスキルアップを図る。 	<ul style="list-style-type: none"> 出生直後から入院治療が必要な循環器疾患児とその家族が、退院後安心して療養できるように、地域で支援を行う関係者に対して、疾病の理解と看護、母子の愛着形成に関する知識等を学ぶ。
活動名	2 - 4 . 保育リーダー研修	
	活動目標	平成 19 年度目標
	<ul style="list-style-type: none"> 地域で保育を進めていく上で、中核的な役割をになう保育士を養成することを目的とし、障害を持つ子ども達の理解と対応の基本的な知識と技術について、学習する機会を提供する。 	<ul style="list-style-type: none"> 全県下(名古屋市を除く)の中堅の保育士、幼稚園教諭を対象とし、障害を持つ子ども達の理解と対応の基本的な知識と技術について、学習する。
活動名	2 - 5 . 生活習慣病予防活動 アチェメック健康スクール	
	活動目標	平成 19 年度目標
	<ul style="list-style-type: none"> アチェメック健康スクールのプログラム、指導内容を確立する。 センターが小児肥満、小児生活習慣病の専門家の相談拠点の役割を果たす。 	<ul style="list-style-type: none"> 外来中心の継続的な指導体制の確立。 教室の実施結果を還元する。
活動名	2 - 6 . 生活習慣病予防活動 親子のタバコ対策活動	
	活動目標	平成 19 年度目標
	<ul style="list-style-type: none"> 子どもへの受動喫煙防止のため、禁煙外来に伴う相談の確立をめざす。 	<ul style="list-style-type: none"> 禁煙外来に伴う効果的な相談・支援体制を整備する。

重点目標 3 . 地域保健活動支援		
活動名	3 - 1 . 保健事業運営協議会	
	活動目標	平成 19 年度目標
	<ul style="list-style-type: none"> 事業庁との連携により円滑に保健事業の運営を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> 事業庁との連携により円滑に保健事業の運営を図る。年 1 回開催
活動名	3 - 2 . 母子保健事業連絡会	
	活動目標	平成 19 年度目標
	<ul style="list-style-type: none"> 母子保健の課題について情報及び意見交換ができ、地域の課題について検討することが出来る。 	<ul style="list-style-type: none"> 母子保健連絡会がスムーズに運営でき、母子保健の課題について情報交換ができる。年 2 回開催
活動名	3 - 3 . 母子健康診査マニュアルデータ分析会議	
	活動目標	平成 19 年度目標
	<ul style="list-style-type: none"> 愛知県の母子健康診査の精度管理の一助となる。 母子健康診査マニュアルデータの分析・検討ができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 県児童家庭課と連携してデータ分析検討会議を開催する。

4 . その他の保健活動	
活動名	4 - 1 . 愛知県予防接種センター
活動目標	平成 19 年度目標
<ul style="list-style-type: none"> ・ 予防接種要注意者に対する接種について市町村への支援をすることで、予防接種率の向上及び健康被害の発生防止を目指す。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 予防接種に関する情報提供など、接種要注意者等への相談対応の充実。
活動名	4 - 2 . 愛知県遺伝相談センター
活動目標	平成 18 年度目標
<ul style="list-style-type: none"> ・ 相談ニーズを持つ人の不安軽減のために相談機能の充実をはかる。 ・ 一次相談機能の充実。 ・ 体制整備（二次相談への連携強化、センターの相談機能の充実） 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 一次相談機能の充実
活動名	4 - 3 . 子どもの事故予防活動
活動目標	平成 19 年度目標
<ul style="list-style-type: none"> ・ 乳幼児を持つ親が具体的な事故予防策を知り実践できる。 ・ 重症度の高い事故については、軽症化できる事故予防策を提示できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 事故予防ハウスを利用した事故予防教室を充実させる。 ・ 事故予防ハウスの見学者が現状維持する。 ・ センター内での事故予防教室を定期的実施して事故予防活動を充実できる。 ・ 事故サーベイランス事業にて介入事業の実施、評価し、有効な事故予防策を提示できる。
活動名	4 - 4 . ボランティア活動
活動目標	平成 19 年度目標
<ul style="list-style-type: none"> ・ ボランティア活動内容をセンター内に積極的に情報発信することによりセンター内からの ニーズの拡大を図る。 ・ 質の高い病院ボランティアを組織 <ol style="list-style-type: none"> 1) ボランティア活動を毎年継続して希望する者の割合を 60% に増加させる。 2) プレイコーナーをミニグループ化する。 ・ 近隣地域の社会福祉協議会と連携し地域に開かれた医療施設とする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ ボランティア活動内容をセンター内に積極的に情報発信することによりセンター内からの ニーズの拡大を図る。 ・ 質の高い病院ボランティアを組織 <ol style="list-style-type: none"> 1) ボランティア活動を毎年継続して希望する者の割合を 60% に増加させ、定着化を図る。 2) ボランティア及び院内の連絡体制について整備する。
活動名	4 - 5 . 国際母子保健医療活動
活動目標	平成 19 年度目標
<ul style="list-style-type: none"> ・ 研修生が研修で計画したアクションプランについて、自国で実践できる ・ 国際母子保健医療活動をとおして、学校保健との連携を図る 	<ul style="list-style-type: none"> ・ アフリカ地域国別研修「地域母子保健」コース（最終年次の実践） ・ 学校保健コース（第 2 年次の実践）
活動名	4 - 6 . 保健医療情報サービス
活動目標	平成 19 年度目標
<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域の小児保健・医療・福祉・教育関係者など専門家への情報提供と専門家との情報交流することで地域の小児保健活動の推進を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 患者・家族会の情報の充実 ・ ホームページ：情報の更新・新規情報の追加により、センター機能の紹介を行う

活動名	4 - 7 . 広報活動	
	活動目標	平成 19 年度目標
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 県の小児保健医療の中核的支援拠点である当センターの診療内容を、県民に身近に感じてもらう。 ・ 地域の保健・医療・福祉・教育の関係者等センターへの見学研修会を実施するなかで連携及び保健室の役割を理解してもらう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 県民公開講座（一般向け）：地域での開催 年 1 回 ・ 東浦町学校保健委員会医教連携セミナーの開催 年 1 回 ・ 当センターの見学者への対応（年 10 回）

・ 各活動の実績とその評価の考え方

保健センターの活動は、(P)Plan:課題解決の仮説設定と事業企画、(D)Do:事業実施、(C)Check 事業実施量・達成度の測定、(A)Action 事業評価と見直し、の PDCA サイクルによって有効性を検証し、scrap and build を実施した。

「第 章 各活動の実績とその評価」においては、下記の考え方に添って、具体的に活動内容ごとに、実績と評価を示した。

活動名	保健部門が取り組む主要課題、活動名。
これまでの取り組み	なぜ課題が生じたのか、日本と愛知県の歴史的、社会的、保健医療的背景を踏まえながら、センター開所以来、当センターが取り組んできた活動の概括を示す。
活動内容	どのような活動を展開したのかなど、本年度の具体的な取り組みを示す。
評価方法	活動の効果はどのように測定し、評価を受けるのか。その方法を示す。
評価	具体的な評価を示し、活動の効果や継続性の意義を明らかにする。